

### 3 住民自治組織

#### (1) 目 的

「三次市総合計画」の策定にあたり，市内19の住民自治組織を対象に，住民自ら策定した「地域まちづくりビジョン」やその実現に向けた取組，住民自治組織と行政の役割等について意見を交換することで，10年後の地域の姿や役割を共有することを目的に，意見交換会を行いました。

#### (2) 検討の経緯

- ① 地域の良いところ（誇り）と課題（困り事）
- ② 課題を解決するにはどうしたらよいか，誰が行うのか
- ③ 10年後の地域のすがた（想像，こうあってほしい）

#### (3) 意見交換会の実施日

年 月 日	実施住民自治組織	
平成25年	6月5日	八次地区連合自治会
	6月10日	君田自治区連合会
	6月11日	酒屋地区自治会連合会
	6月12日	布野町まちづくり連合会
	6月14日	栗屋町づくり協議会
	6月17日	吉舎町自治振興連合会，青河自治振興会
	6月18日	田幸地区町内会連合会
	6月19日	三和町自治連合会
	6月20日	三良坂町自治振興区連絡協議会，河内まちづくり連合会， 神杉地区自治会連合会
	6月21日	甲奴町振興協議会連合会
	6月25日	三次地区自治会連合会
	6月26日	川西自治連合会
	6月27日	作木町自治連合会
	6月28日	和田自治連合会
	7月16日	川地連合自治会
	7月30日	十日市自治連合会

(4) まとめ

■河内まちづくり連合会

班名 ( )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

○ボランティア的、協力体制が良い。		
○住みやすい地域 ○地域がまとまっている。		
○福祉施設があって雇用の場がある。		
○伝統文化の継承 (穴笠神楽など)		
○県道433号線がある。		
△インフラ整備が不十分 (上下水道) 環境整備 △三次市内とのアクセス道路整備不十分	→ 地域をあげて市へ要望 市の施策のあり方 ・道路 (河内寺戸線) 整備	行政
△市の施策が見えにくい。	→ 行政職員の意識改革, 二重行政の 改善, 要望窓口を明らかにする。	行政・地域
△公共施設が少ない (社会教育施設)	→	行政
△危険箇所が多い	→ 情報共有を強化	地域と行政
△人口減少・少子化 △空家が将来増える	→ 地域出身の若者の流出を止める。 空家バンクの推進	地域と行政
△自然があるのに活かされていない △地域外との交流ができていない	→ ・子ども達を対象にした川遊び行事, 森林をもっと生かす仕組みづくり, 都市住民を地域へ迎える	地域, 自治連
△河内地域は通過点の地域 △河内の特色が外に見えにくい	→ 住民が元気を出す。PRする。	地域

10年後の地域のすがた  
(想像, こうあってほしい)

- 河内出身者のUターンを推進して  
活力ある河内になる。
- 道路も水もきれいなまちの河内
- Uターン者を迎える地域, 河内
- 高齢者も若者も元気がでる地域, 河内
- 連合会が中心になったまちづくり  
(運動会などで実感)

■三次地区自治会連合会

班名 ( )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

○災害が少ない ○三川が合流している	→ ・川を身近に取り戻す活動を する (良さを知り, PRする)	自治会・行政
△若い人が働く場所がない △空き家・空き店舗の増加 △本通り商店街のシャッター通り化 ○本通りで観光客の姿を目にする ○コンパクトで暮らしやすい ○買い物も医療もそろっている	→ ・働く場, 夢のある仕事をつくる ・人口を増やす (家族を戻す) ・空き家・空き店舗助成の要件緩和 (Uターンも対象に!) ・地元の人も商店街を歩く ・ひと休みできる場所をつくる	行政 市民
△松江道開通による交通量の増加 △道路改良が不十分	→ ・計画的な道路整備 ・意見のとりまとめ	行政 自治会
△見守りの難しさがある △CATVが普及していない	→ ・防災・CATVの活用など三次地 域をモデル特区にする	自治会・行政
○旧三次西小学校が活用できている △文化会館跡地の有効活用	→ ・高齢者が集える施設整備 ・意見のとりまとめ	行政 自治会
○文化・歴史・観光資源に恵まれている △看板・駐車場が少ない	→ ・資源磨き (桜植樹, 所有者への 協力等) ・看板設置, 駐車場の確保	自治会・行政 行政
△中学・高校生の意見を聞く場がない ○他の学区から通学してくる子どもがいる 通学してくる	→ ・中高生との話し合いの場を設ける	自治会
△若者との交流がない △高齢化が進み, 役員のなり手がいない ○女性の参加が多い	→ ・一緒に汗を流す場をつくる ・地域のつながり, 声掛けを大事 にする ・自治会加入を義務付ける	地域

10年後の地域のすがた  
(想像, こうあってほしい)

- ・桜が美しく咲くまち
- ・高齢者に優しい住んでみたいまち
- ・Uターン・Uターンの若者にとっても  
魅力のあるまち

### ■栗屋町づくり協議会-1

班名 (えのかわ)

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

○景観・自然			
○連帯感。			
△地形が悪い。	→	逆手にとる。	
△学校区分り、通学。	→		
△子ども同士の交流が希薄。	→	行事を通じて呼びかけを行う。	自治会
△高齢・少子。	→	企業誘致。産婦人科の充実。生活環境の整備。	行政と地域で協力
△インフラの整備格差。	→		
△嫁不足。	→	都市との交流	
○福祉施設が多い。			
△娯楽施設が少ない。	→		
△農林業が不振。	→		
△水質がよくない。	→	上水道の整備	行政
○温厚な人が多い。			
○駅が2つある。			

#### 10年後の地域のすがた (想像, こうあってほしい)

- 高谷山への道路を整備して観光バスが入る。
- 高谷山を活かした観光施設が整備されている。
- 家周りの草刈りを行政が行う (所得制限を設けて)
- 結婚した若者が住む町。

### ■栗屋町づくり協議会-2

班名 (たかたに)

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

○幹線道路 (上村~三次) が良くなった。	→	道路標識を建てる。警察の取り締まりを強化。交通安全教室の実施。	行政警察
△道路が良くなったが交通事故が心配。			
△中山間地で草刈りが多い。	→	地域を超えて、互助草刈りをする	ボランティア
△集落を結ぶ道路が狭い。	→	道路整備	行政
△不法投棄が多い。	→	監視カメラをつける	
△イノシシと鹿の被害が多い。	→	猟期の拡大, 規制緩和	行政
△若者が少ない。	→	住みやすい生活環境	
○人柄が良い			
○高谷山がある。			
○静かで過ごしやすい。			
○観光資源が多い。			

#### 10年後の地域のすがた (想像, こうあってほしい)

- 高谷山の道が広くなる。
- 高谷山、公園化で年中、賑わう。
- 観光ビジネスができないか。自然+aを創る。(農業体験, 珍しい土産)
- 西三次, 栗屋, 長谷駅から高谷山目指して歩く健康づくり。
- 尾道松江線を活かしたまちづくりをする。PRをしっかりとする。
- 泊まってゆっくりできるお風呂などの施設。(高齢者も増えるので)
- 栗屋町民が共同生活をするような施設づくり。(空家を賃貸する, プレハブを利用など)
- ↑
- 愛着のある地で、住み続けるために
- 市全体で取り組むなど、在宅介護, 見守りをしっかりとする。

## ■川地連合自治会-1

班名 ( 1 班 )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

○若者層が思ったより多い ○住みやすい地域である			
△働くところが少ない △少子高齢化により、田畑の維持が困難	→	地域の特性を活かして重点的施策がほしい	
△空き家が多い	→	空き家リフォームをして若い人を返す	
△子どもが少ない。若い人が少ない。	→	企業誘致をしっかりと行う 広島のベッタウンなど何か特色のある施設をする (生活の場)	
△街灯が少ない。(夜危険)	→		
△特産品がない	→	新しくチャレンジする事業に積極的補助をする。	
△各事業への参加ができない人が増えている。 △老人クラブの人数が減っている	→	助け合う精神を呼び起こす	
△洪水が心配 △危機に対応できているか	→	秋町のポンプをつくる	
△何かしかの積極性がない △謙虚すぎる △創造性に欠けるところがある	→		

**10年後の地域のすがた (想像, こうあってほしい)**

- 交通事故が少ない地域
- 犯罪が少ない地域
- 正直者が多い地域
- こどもが素直な地域
- 地区に力強さがある地域
- 思いやりがある地域、川地
- 地域の連携がある地域
- 野菜がおいしい地域
- 安全なまちであってほしい (川が氾濫しないようにしてほしい)

## ■川地連合自治会-2

班名 ( 2 班 )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

○年少人口が増加している			
○水害以外、他の災害は少ない ○防災に力を入れている			
○広島市に近い			
○協力体制がある (協調性, まとまりやすい) ○人材が豊富 ○技術者が多い (特技を持っている) ○人情が熱い、深い ○人に親切である (誰とでも気軽に声をかけられる) ○気持ち良い言葉が自然と出る			
○環境がきれいになり不法投棄が減った			
△浸水、水害が多い	→	・危険想定箇所を把握して、要望活動に取組み、防災事業として位置づける。	
△飲み水が無い (飲める水がない)	→	給水地域になっていない地域の解消	
△イノシシ・鹿の被害が多い	→	・里山の整備と猪鹿の駆除班を市として行成して、協働で取り組む ・ハンターへ助成	
△市の西はずれにある △バスの便が悪い (買い物難民) △空港へのアクセスが悪い △Aコープだけでなく他のスーパーもほしい	→	・タクシー業者を活用して、曜日毎に定めて、循環タクシー方式にしたらよい ・尾道松江線からアクセスできる高規格道路を整備する	
△世代間の交代が難しい (年をとっても役員の世代交代が進まない) △若い人との交流が少ない △若者のイベントへの参加が少ない	→	・若者が定住できるような環境と教育力の向上と企業誘致のミスマッチの解消 ・空き家バンクの早期登録と持ち主に理解してもらうよう働き掛けを強める。 ・高齢者に地域で活躍してもらうように、地域活動での役割を果たしてもらう ・児童、生徒を巻き込んだ行事を組み、地域活動に対して保護者の理解を得る。 ・廃校の活用促進 (地域の集楽)	

**10年後の地域のすがた (想像, こうあってほしい)**

- まず自分から行動を起こす
- 人任せにしない雰囲気づくり
- 三次の特性を活かして、進めていく
- 市の西の玄関になっている
- U、Iターン者が増えているまち
- 水害のない安心安全なまち
- 弱者に優しい地域づくりと街づくり
- 道路体型を整備し、田舎ほどアクセスが大事。
- 広島駅、空港へ1時間で行けるようになっている
- 小規模の農家の頑張りが見捨てられないような施策と、やる気を育てる

## ■青河自治振興会

班名 ( 役員のみなさん )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

- 地域まちづくりビジョンを着実に実行
- いいリーダーがいる
- 教育に熱心 (全てに小学校が中心)
- 昔の文化の掘り起し
- 環境がいい
- 河川清掃⇒ホタル増加
- 協力、協調、団結+理解 (まとまる)
- お年寄りを大切にしている (福祉バスの運行)

### 10年後の地域のすがた (想像, こうあってほしい)

- 地域まちづくりビジョンに沿ったまち  
(自主防災組織の項目を加える  
⇒ 自主防災組織の有効な活用)

△行政との連携や支援について、行政の方向性が見えない	⇒ 補助金は出来高払いの方法へ ⇒ 地域力アップへ	行政
△市の仕事を地域へ (県道の草刈り、落ち葉など、権限移譲で、県がやっていた頃より草刈りが雑で状況が悪い) △側溝の溝上げ作業困難 (落葉)	⇒ 地域でできるものは、地域が受けてもいい。地域でできないものは業者へ発注。 ⇒ 地域力アップへ	地域 地域力アップ!
△若い人が働く場がない 企業誘致のあり方	⇒ 民間人が対応 (信頼度アップ) 工業団地に映画のロケセット	民間
△担い手不足 - 自治活動 - 農業	⇒ 宿命! 学校と連携、農業体験から愛着へ	
△高齢者の運動する場がない	⇒ 耕作放棄地の活用、やり方がわからない (農地法改正, 特区)	地域, 行政

- 自分で作ったものを自分で売る。  
(農産物, 付加価値をつけて)
- 工場をつくる  
⇒ 社長が必要... 人材育成。
- 地域運営の学校

- 人生の最期を安心して迎えられる。  
(葬儀のあり方)

## ■十日市自治連合会-1

班名 ( 1 )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

公園が少ない。小さい子が遊べる公園がない。	⇒ 遊休地を提供してもらい 借用させてもらう 啓発する。看板・チラシ・口コミ 若者に聞く	地域・自治連 行政がともに 青年団やヤングカレッジのようなグループをつくる
自然が崩壊 (環境悪化)。目につき難い所の環境の乱れが大きい。	⇒ 道路を拓ける。土地の提供・行政に依頼・都市計画の見直し	地域・自治連 行政がともに
若者の楽しめる場が少ない。若者でデートコースがない。気軽に集まって何かをやる! という場所がない。川辺周辺の木質が悪い。	⇒ コミュニケーション、声を掛けあう 啓発活動を行う。パトロール隊	常会・地域・地区・ お隣同志
歩道や自転車道が狭い。生活環境が悪い (特に生活道不良)。4・6区など救急車が入りにくい。道路の側溝に蓋がなく危険なところがある。川沿いに街灯が少ない (危ない)	⇒ 空き店舗・空き地の利用、J・Iターンを募る。若い人たちが集まれる町に、働く場の確保	企業誘致 起業する
生活マナーが悪くなっている。モラルが低い。他人任せにする。ボランティア参加者が少ない。	⇒ 井戸端会議の復活。危機感を持ってもらう。リーダー育成をする。常会長の順番廃止。休耕田の利用。畑づくり	
子どもが少ない。大学等で、大阪、東京に行く帰ってこない。個人商産を活かすためにはどうするか。	⇒ 世代間交流をさらにする 声掛け 飲み会 まつり参加 先生や子どもが地域に接する機会を増やす	地域 地域と行政がともに
常会常任が消えていき、地区の交流が少なくなる。一体感の低下 (常会崩壊)。となり近所の付き合いが薄れる。他から来た人をよそ者扱いする。	⇒ 若い人、自治活動への参加が少ない △生徒数が多いため、指導や業務が間に合わない	
△人口が多い。小・中学校の児童子どもが多い (知り合い同士 (同級生) が多い) 生徒数が多く刺激的	⇒ 買物便利 (電気製品・洋服など)、生活便利 ショッピングセンターなど商店や公共機関が多い 三次市の中心では活発な商業活動が行われている 老人が住みやすい施設が多い	
行政機関が集中していて便利 健康スポーツのための施設が多い 病院がたくさんあり安心		
親水公園や若宮公園など自然の公園がある 川が十日市にあり、大変美しい。比較的自然災害が少ない。川に恵まれている (馬洗川、北溝川など)		
他の地区より高齢化率が低い (若い人が多い) 色々な人と交流しやすい 地産地消の食べ物美味しい野菜・米・水		

### 10年後の地域のすがた (想像, こうあってほしい)

- 外で元気に遊ぶ子どもたちの大きな声が聞こえてくるまち。  
外で遊ぶ楽しい町  
子どもたちが野外で遊ぶ環境づくり

- 北溝川で遊んだり、散歩が安全で楽しい町に川がきれいまで水遊びができる町  
北溝川へサケが帰ってくる。田カメが住む川虫や魚や鳥、自然のものが集まる町  
花が咲き、緑の多いきれいな町

- 若いカップルが他の地区より多い町  
音楽が流れるすてきな町  
若者が楽しそうに過ごせる町  
若者が全体の6割以上目標

- 駅前が整備されている、にぎわいでいる町  
どこに行くのも (市外・県外) 便利で、観光客も多い町  
共助が復活し、住みよい十日市になる  
となり近所が仲よく交流できる街  
みんなが声かけ合う明るい町  
老人が活き活き生活できる街  
高齢者が増え、共助ができ活き活きしている  
老人ホームに入らず自宅で過ごせる  
コミュニティセンターがいっつも来てほしい町の町

### ■十日市自治連合会-2

班名 ( 2 )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

- 治安が良い
- まちがきれい
- 河川の整備, 環境整備等が進んでいる
- △生活道の整備が進んでいない
- △通学路が危険

- 豊かな自然が残っている
- 山, 川, おいしい水があり, 自然の恵みが豊か
- 田園都市

- ある程度の都市機能がそろっている
- 買い物, 行政, 医療など生活が便利
- 飲食店が多い
- △中心部の商店街がさびれていく
- △まちづくりの核が少ない

- 陰陽の結節点

- 神社仏閣, 文化的施設が多い

- △仕事, 地域産業が少ない
- △子どもが少ない

- 絆が強い
- 人が優しい
- 行事への若者の参加が増えている
- △60~70代の地域活動への参加が少ない

- △若者が少ない
- △子どもが少ない

- ・まちコンの開催
- ・飲食物など他と差別化する
- ・街中に寄ってもらえる工夫をして, 交流人口を増やす
- ・他の地域の元気を取り込む

商店街, 地域

- ・鉄道マニア等に興味をもってもらえる企画を考える
- ・JRのOBと連携し, 鉄道公園をつくる
- ・歴史を子どもたちに語り継ぐ

地域

- ・企業誘致

行政

- ・大学など高等教育機関の充実
- ・体育科の設置など他にない独自の取組

行政

10年後の地域のすがた  
(想像, こうあってほしい)

- ・スポーツの中国大会などが開催され, たくさんの宿泊者がある

元気な十日市

### ■十日市自治連合会-3

班名 ( 3 )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

- 利便性が高い (買い物・銀行・役所)
- 行政機関・公共施設に近い (警察・消防ほか)
- 交通の便が良い (東京・名古屋・大阪が近い)
- 飲食店が多い
- 地元密着医療が充実している
- △道路が狭い
- △経済基盤が弱い
- △就労場所が少ない
- △都市の大病院に行ってしまう

- 効率的な公共事業の実施 (新規事業に対してしっかり補助金)

行政

- オピニオンに第一・第二をつくる
- 病院情報の取りまとめ・情報交換会
- 医者・教師・コーチを誘致

行政

- 高齢者が元気, 高齢者が住みやすい
- Uターンの方が多い
- 世話好きが多い
- 町づくりイベントの参加者が多い
- 若者のボランティア意識が高く人材も豊富
- 商店街が明るい

- 高齢者の輝く場づくり
- 富山方式の介護を实践 (老人・子ども・障害者など)
- NPOを作って協力, 費用捻出
- ボランティアセンターで情報交換

住民・行政

- 八幡さんがある
- 三次人形のかまきがある
- 祭りが多い
- 躰飼がある (住民・子どものステータスになる)
- △規制が多い

- 空気・水がきれい
- △山が荒れている

- やる気になったら認められる
- 静かだった時は放っておかれる

10年後の地域のすがた  
(想像, こうあってほしい)

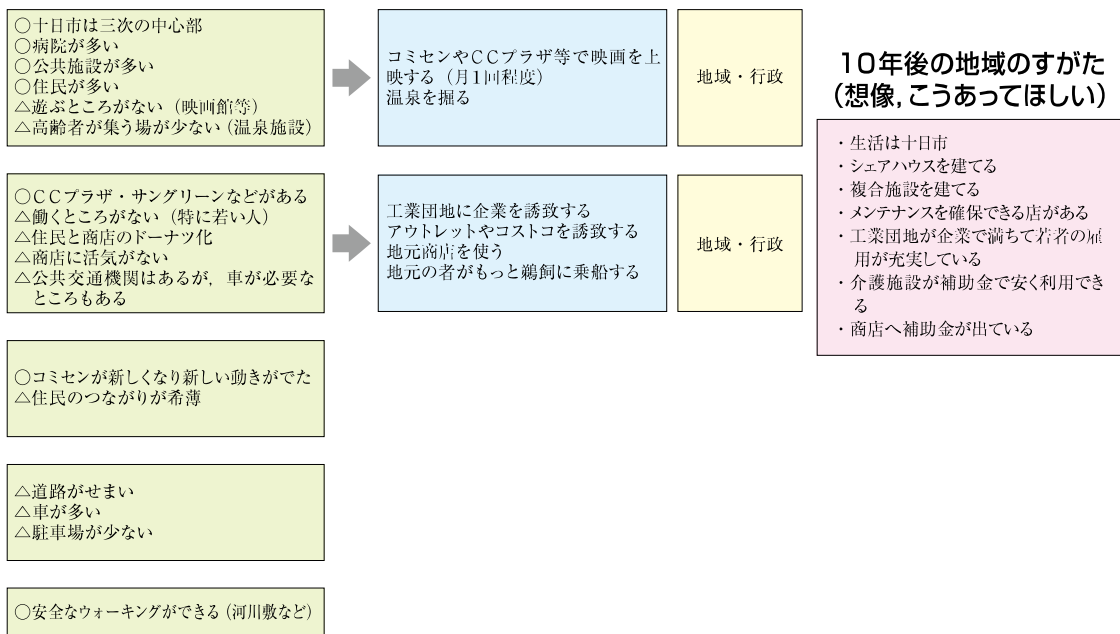
- ・終(つい)の棲家 (天国に一番近い町)
- 1F: 商店
- 2F: 医療・介護・マッサージ
- 3F: 賃貸住宅 (老人用)

- ・暮らしやすい自治体日本一

### ■十日市自治連合会-4

班名 ( 4 )

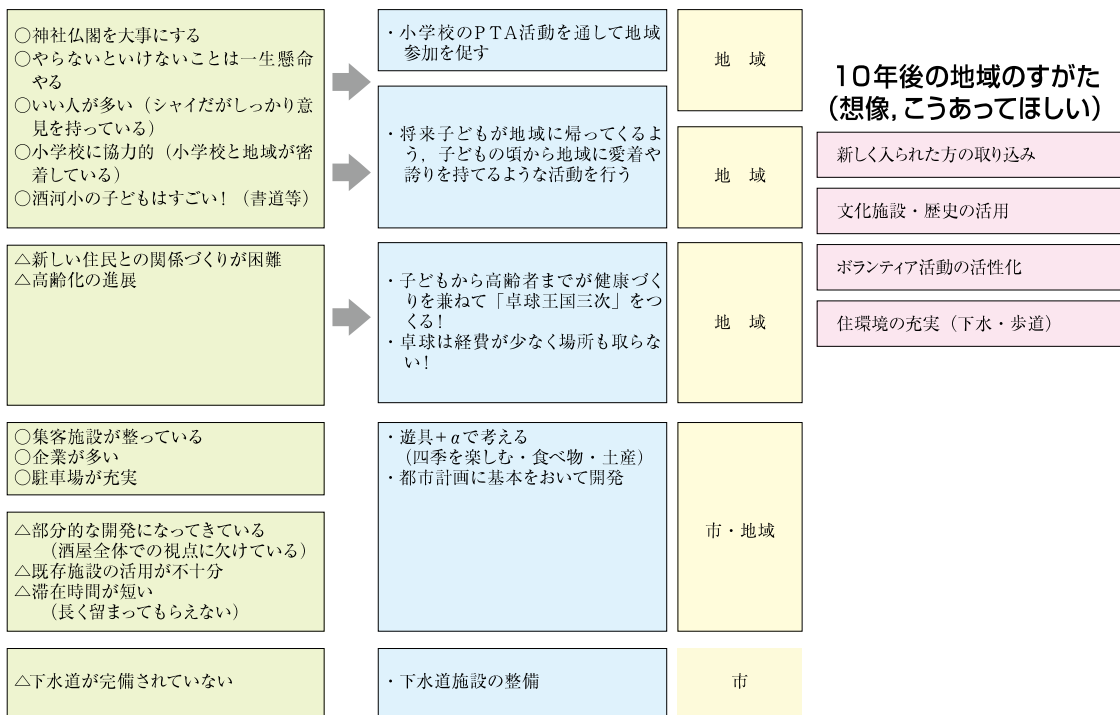
○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?



### ■酒屋地区自治会連合会-1

班名 ( 1班 )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?



## ■酒屋地区自治会連合会-2

班名 ( 2 班 )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

○自治会加入者の間では一体感がある (新しい住民が参加しているところもある) ○人口 (若年層) が増えている ○多くの文化・歴史資源がある	・転入時に常会長やコミセン等の地域情報を提供する ・分譲地の所有者に常会加入の協力を仰ぐ	市 地域	10年後の地域のすがた (想像, こうあってほしい)
△新旧住民の交流が少ない △若い世代の地域活動への参加が少ない △常会への加入率が低い △新しい住民のマナー (ゴミ分別など) が悪い △人が留まらない (自由学区による地域への愛着の薄さ) (働く場所がない) △防犯・安全施設がない	・役割分担をして, 文化・歴史資源の保存・活用を図る (説明・案内看板の設置等) ・住民の交流の場づくり (例: 小学校・保育所での体験活動, 野球チーム, 山の日, 文化施設・歴史資源を活用) ・将来的に酒屋に帰ってきてくれるような取り組み (愛着) ・企業の誘致 ・駐在所の設置	地域・市 地域 地域 市 行政	
○新しい機能 (美術館・ワイナリー・運動公園 等) が集積している	・美術館周辺を芸術ゾーンとして整備する (木工・草木染体験や職人を集める) ・空気が良ければ遠くからでも人は来る! ・スポーツ施設 (リハビリ含む) の整備や活用を図る	市・地域	
△拠点構想について面的広がり欠ける △集積した機能・施設の活用が不十分である			

## ■八次地区連合自治会

班名 (比叡尾山班と馬洗川班合体)

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

○歴史ある ○子どもの見守活動 (継続) ○継続している行事 (敬老会, 馬洗川まつり, 花火) ○部活動活発 (継続) ○住みやすい	若者の参加	自治会からの呼びかけ	10年後の地域のすがた (想像, こうあってほしい)
△公共下水道はまだ △避難場所が少ない △コミセンのバリアフリー化, 駐車場整備	行政へ継続して声を掛けていく 上昌敷, 四拾貫, 南畑敷地区要請が必要	行政 地域 自治会	
△未加入常会が多い	継続して声を掛けていく	自治組織 地域	○安全安心のまち・・・子ども安心元氣, 高齢者見守り
△尾道松江線開通による交通量増。インター入口の標識見えにくい。 △クリニック信号, 右折レーン必要	行政へ継続して声を掛けていく 時差信号の設置	行政	○経済効果を高めていく⇒工業団地への企業誘致・・・若い人の働き場
△比叡比山城, 駐車場ない △馬洗川遊歩道 (南畑敷側) 整備 △散策コースメンテナンス (草木)	企業への協力 (JA, 卸センターなどの協力願) 三川合流時, 水辺の楽校での実施	自治組織 地域 行政	
△就業場所が少ない?	企業誘致	行政	



## ■和田自治連合会-1

班名 ( 1 )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

○農業が元気  
○里山などの自然  
○災害が少ない  
△鳥獣害に困っている (イノシシ・タヌキ・カラス等)

鳥獣対策を学習する  
エサを与えない

○小学生が増える傾向がある  
○年配の方が元気  
△高齢者の見守りが心配  
△介護保険料が高い

集落で担当を決めて見守る  
元気なお年寄りになる様な体力アップイベントを開催

○学校と地域が一体化  
○スポーツが盛ん  
△自分さえよければの風潮  
△近所との付き合いが減った  
△行事に参加者が少ない  
△行事が無くなりつつある

P T Aの行事参加を拡大させる  
魅力ある行事を工夫する

△寺町廃寺跡が観光発展してない  
(整備が不十分)

発掘調査

○住環境が十分に整備されている  
○コミュニティセンターがきれい  
○住みやすい所である  
○通学路に危険が少ない  
△飲食店が少ない (無い)  
△住宅地が少ない  
△生活道の整備が不十分 (通学路が狭い)

△全てに横文字が多すぎる

### 10年後の地域のすがた (想像, こうあってほしい)

- ・ 史跡を観光資源として活用している
- ・ 安全で安心して暮らせるまち
- ・ 都市と農村の交流が盛ん
- ・ 数万人レベルが勤務できる会社・スーパーができています
- ・ 伝統芸能や文化の継承したまち

## ■和田自治連合会-2

班名 ( 2 )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

○災害が少ない (緩やかな風土)  
○豊かな自然と生活利便の共存  
△農業は赤字で後継者もいない

農業 + 他産業 = 6次産業

地域・行政

○生活は比較的安定している  
○市街地に近い・三次東ICに近い  
○上下水道完備・文化的条件は理想的  
○医療 (病院)・福祉施設 (章仁会) がある  
△地域の主産業が農業しかない  
△地区内にスーパーがない  
△市街地に近いが取り残されている印象  
△車に乗らない人にとって公共交通機関が少ない

条件の良さを活かす  
地域で自由に使えるマイクロバスなどを確保する  
地元の店を積極的に利用する  
雇用の場を増やす

地域・行政

○人口・世帯数が増えている常会もある  
○和田小・保育所児童数は横ばい  
○I・Uターン者がいる  
△人口減少・若者がいない

○子供の見守りなど当番でなくても行っている人がたくさんいる  
○体育振興会は自発的に活動している  
○保育所・小学校・地域のつながりがある  
○近所との関わりが密であり相談し合える  
○地域通貨制度 (とらたん畑) の取組み実績  
○環境保全活動など先進的取り組み実績 (エコフォーラムわだ)  
△地形がひょうたん型で2町間の交流が難しい  
△地域活動が不活発 (寄りが少ない)  
△地域の人材が活かされていない  
△活動グループは多彩だが底辺が広がってない  
△自治活動への参加者が少ない

地域の人に呼び掛ける  
集会所にダイサービス機能を設ける

地域・行政

### 10年後の地域のすがた (想像, こうあってほしい)

- ・ 米価が上がっている
- ・ 年をとっても会合などに出かけやすい
- ・ 会社での能力・技術を地域 (地元) で活かせる
- ・ 定年後は楽しみの農業ができる
- ・ 隣近所の助け合いがある
- ・ 地域の人のために活動する人が増える
- ・ 地域リーダーが上手に意見を取りまとめている

## ■神杉地区自治会連合会

班名 ( )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育所・小学校・コミセンが集まっている</li> <li>○子どもが身近に感じられ、世代を超えた交流がある</li> <li>○高齢者が集える憩いの場がある</li> <li>△コミセンが老朽化しており、高齢者が使いにくい</li> <li>○顔の見える関係性がある</li> <li>○地域の人々が協力的である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティセンターの改築・複合施設化 (誰もが使いやすい施設に!)</li> <li>・保小一貫校の整備</li> <li>・児童クラブ専用室の確保</li> </ul>	<p>行政</p> <p>地域</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○田舎でも都会でもなく、ちょうど住みやすい地域 (子育てしやすい)</li> <li>△子育てへの意識の変化</li> <li>△進学した子どもが帰りにくい</li> <li>△働く場所がない</li> <li>△若い人が少ない</li> <li>△人材育成が進まない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅を整備し、人口を増やす</li> <li>・住みやすいまち三次のPR</li> <li>・企業誘致</li> <li>・常会機能・自治組織機能の再編</li> </ul>	<p>行政</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害が起きにくい地形</li> <li>△防災拠点施設がない</li> <li>△交通量が多いが、歩道がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災拠点施設を分散設置する</li> <li>・自主防災組織の立ち上げ</li> </ul>	<p>行政</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>△自治組織の位置付けがあいまい</li> <li>△人員不足で課題への対応ができない</li> <li>△支援体制に格差がある (支所・本庁)</li> <li>△行政からの情報発信が遅く、不十分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行財政改革で削減した経費で自治組織の事務局員を採用する</li> <li>・自治組織と行政の役割分担の見直し (自助・共助・公助)</li> <li>・活動内容の再検討</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○広い農地がある</li> <li>△若い人の農業への理解が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業加工施設の整備</li> <li>・地産地消の取組を進める</li> </ul>	<p>地域</p>

### 10年後の地域のすがた (想像, こうあってほしい)

みんなからうらやましがられる  
 ・何世代にもわたって住み続けたい神杉  
 ・子どもから高齢者までわきあいあいと健康で明るいまち神杉  
 ・文化芸能活動の継続  
 ・世界にうってでられる農業地域  
 ・安心・安全なまち

## ■田幸地区町内会連合会

班名 ( )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

<ul style="list-style-type: none"> <li>○保・小・中・高が地域にある。</li> <li>△子どもが少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行財政のスリム化</li> <li>・小学校統合などの規模適正化</li> </ul>	<p>行政</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>△若者が働く場所がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致</li> </ul>	<p>行政</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>△農業の担い手がない。</li> </ul>		<p>行政</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>△住み続けるための基盤が整っておらず、若い人に帰ってこいといえない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩町糸井線 (田幸踏切)・農免道の改良, 浄化槽補助の拡充</li> </ul>	<p>行政</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>△商店街の店舗が少なくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活性化のヒントの提供</li> </ul>	<p>行政</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>△子どもの見守りができなくなる。</li> </ul>		<p>地域・学校</p> <p>地域</p> <p>地域・行政</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○月1回以上の見守りができている。</li> <li>△高齢者が増えて見守りができなくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と学校の連携強化 (避難場所など)</li> <li>・向こう三軒両隣の復活</li> <li>・入院・入所など情報共有</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>△高齢者の見守りに必要な情報が不足している。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>△民生委員の負担が大きく、なり手がいない。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>△認知症の受け皿となる施設がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施設の整備</li> </ul>	<p>行政</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>△高齢者が日々の買い物に困る。</li> <li>△高齢者の交通手段がタクシーのみ。</li> <li>△行政が地域の力を過大評価している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草刈・話し相手・ゴミ整理など、自分ができる少しのボランティアをする。</li> <li>・便利屋さんの存在をつくる。</li> </ul>	<p>一人ひとり</p> <p>地域</p>

### 10年後の地域のすがた (想像, こうあってほしい)

(川中心地のよいまち)

(住みよいまち)

#### 【その他要望など】

・自主防災組織の立ち上げ支援  
 ・備蓄品整備  
 ・放課後児童クラブの継続  
 ・福祉施設, 加工所の早期整備  
 ・「悠久の森」のプラスイメージへの転換 (ピオネットでのPRなど)

## ■川西自治連合会-1

班名 ( 1 )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

- 若者が個性を活かして活動している
- 高齢になっても地域奉仕活動に協力する
- 地域行事後の懇親会戸数の80%が参加

- 都市農村交流が始まり、ファンがいる
- これまで地域を守ってきた歴史

- 高齢者のいきいきサロン、喜んでいる

- 子育てがしやすい場所 (環境)
- 安心して暮らせる

- 自然が豊か (ほっとする)

- 人間関係が良い
- 美男女が多い。

- 住民が先生となる授業がある

- △農業、高齢化し後継者がいない
- △新しい農業への理解
- △草刈もできず田畑が荒れていく
- △有害鳥獣被害に困っている

- △交通弱者の存在 (買い物等いけない)

- △空家の活用ができていない
- △田舎ツーリズムが浸透しない

- △小学校、複式学級 (小規模)
- △子どもの体力低下

- △役員のなり手がいない

- ・農地を集約して、法人化
- ・食べていける農業
- ・定年後、農業しやすい環境づくり
- ・新規就農者の支援
- ・定住と農地管理をセット
- ・インターネット活用し、全国へブランド商品販売
- ・市民農園をつくる
- ・定住につながる稼ぎ場づくり (工業団地内、企業誘致)
- ・ちょっとした買い物ができる場所をつくる。
- ・医療・介護予防施設の整備とさらなる充実
- ・都市農村交流 (新たな拠点) の充実
- ・体験旅行業等、小さな仕事 (農業と買い物など) の組み合わせ
- ・郷の駅の実現 → 地域・市役所の退職者・働く女性・NPO連携体制 → 交流人口の増加

行政  
行政と地域  
個人

### 10年後の地域のすがた (想像, こうあってほしい)

- 若者がいきいきと活躍できる地域
- 地元を離れた人も誰もが川西を好きでいてくれる地域

- 農業・畜産業を軸として、特産品を開発し、自然や景観をPRできる地域

- 保育所・小学校・地域が連携している地域

- 川西を目的地としてきてくれる地域

- I・Uターンを受け入れる地域

- 地元の高校に憧れる環境

## ■川西自治連合会-2

班名 ( 2 )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

- 近所付き合い等つながりは強み
- こどもからおとなまでまとまっている
- 様々な特技を持った人が多い
- こどもたちが元気で明るい笑顔である
- 地域にこどもがいると和む

- 町内会・自治会活動がしっかりしている

- 広場の桜木植樹は地元出資

- ほしはら、観光農園等の地域に開かれた施設がある

- 農業法人の存在

- 住みよいまちにしたいと小さなことでも頑張っている

- △人口減少

- △小学校の全人数37名 (S28 ~ 29年時の8%)

- △学校統廃合への不安

- △高齢者の買い物をするのが困難

- △地域、定住機能の喪失

- △空家増えてきた

- △耕作放棄地が多い

- ・小学校の存続、過疎の学校のあり方の研究
- ・1ターン者だけではなく、Uターン者も不可欠
- ・高齢者や子育て中の母親が集まれるコミュニティの場所を創る
- ・若者に負担を増やさない地域社会システムの構築
- ・小・中・高校生と地域の複合化した教育の開放
- ・学校でのふるさとに愛着が湧くような取り組みを行う
- ・1ターン者と年配の人をつなぐ役割が必要
- ・生業 (なりわい) の場、コミュニティビジネス (農) の展開
- ・田舎留学、農家民泊 (レストラン、美術館)
- ・500人規模の団地を造り、広島、東広島への通勤バスを準備する
- ・できることをやる (定住希望者にながなんでも受け入れる。古民家の活用)
- ・郷の駅 (拠点) を造る。小さな拠点の早期完成
- ・介護予防、医療の一体化展開
- ・市があらゆるセクションで意志をもつ

行政  
行政と地域  
個人

### 10年後の地域のすがた (想像, こうあってほしい)

- 三次で働く若者のベッタタウンになる地域

- 田舎の良さを継続して、だれも安心安全に生活できる地域

- 学校があり、子どもと地域の人が交流と学びあえる地域

- 交流・定住人口 (若者・高齢者) を増やせる地域

- 田舎の良さを伝える営業マンのいる地域 (情報発信、広報の充実)

## ■君田自治区連合会

班名 ( )

### ○よい部分 (ほこり)

- ・人が優しく安心して暮らせる
- ・地域があたたかく、人情にあふれている
- ・絆を保っている
- ・家庭・学校だけでなく、地域で子どもを育てる環境がある
- ・神楽やひまわり祭りなど、君田ならではの行事がある

### 課題 (困り事)

- ・若者向きの仕事がない
- ・工業団地への進出企業がない
- ・若い人が帰ってこない
- ・限界集落を超える状況になってきた
- ・見守りの必要な人が増えた (家族は休日しか帰らない)
- ・空き家が増えている (家族は休日しか帰らない)
- ・車がないと、買い物・通院などが困難
- ・バスの利用者が少なく、路線がなくなるかもしれない
- ・5年後には車が運転できなくなって、必ずバスが必要となる
- ・農地はあるのに、農業で生活できない
- ・補助・支援制度がないと、農業が続けられない
- ・土地を守る人がいなくなる
- ・有害鳥獣の増加・シカ用ネット費用の補助
- ・市議会議員がしっかりしていない

### 課題の解決方法

- ・君田のよいところをしっかり伝える (インフラの充実、市の中心市街地への近さなど)
- ・年寄りとかやく言わない
- ・コミュニケーション・コミュニケーションを深め、アイデアがでやすい雰囲気をつくる
- ・子どもたちの地域への愛着を育む (神楽がやりたいから残る・農業をやりたい子もいる・君田がよいところだと伝える)
- ・君田小学校に子どもを通学させないから、君田へ帰る (自分が君田の学校に行ってきたから)
- ・企業誘致をまずやるべき
- ・太陽光発電 (クボタ用地 2.7ha) にはは?
- ・若い人を受け入れる努力をする (よく帰ってきてくれたという感謝の気持ち)
- ・子育て支援策の充実
- ・少しでも人口減少をくい止める方法を工夫する (15歳未満の医療費の無料化など)
- ・Uターン・Iターンへの報奨金制度の実施
- ・雇用条件の充実・地域の魅力を伝える
- ・教育が充実していることをPRする
- ・君田に住所がなくとも、地域の活動に出られるなら、地域の担い手として、つながりを継続する (三次市内に住んでいれば地域が守れる)
- ・地域全体での見守り・声掛け (担当を決めている)
- ・元気な高齢者を増やす
- ・高齢者用の住宅を冬だけでも中心部につくる
- ・路線バス会社への補助を減らして、市民バスの便数を増やす (細かく回す)
- ・食料の源である米の大切さをPRする
- ・消費者の食に対する関心を高める
- ・水路管理などを集落全体・地域全体で守る (非農家も協力してくれる)
- ・しっかり仕事をしてほしい

### 誰がするのか?

- 地域学校
- 三次市議会
- 地三次市三次市
- 地三次市
- 三次市
- 地域
- 三次市
- 地域三次市
- 議会

### 10年後の地域のすがた (想像, こうあってほしい)

- ・元気な女性が多く、地域が元気
- ・住んでいる人が便利なところだと体感して絆を保っている
- ・年をとっても元気でいる
- ・君田に多くの人が住んでいる
- ・Uターンする人が増えている
- ・地域で助け合う気持ち、つながりが強い
- ・現状の君田のよい部分が継続している

## ■布野町まちづくり連合会-1

班名 ( 1班 )

### ○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

- コンビニ、コメリがある。
- 自然が魅力 (モリアオガエル尻無ため池、大谷池)
- 歴史 (出雲街道、鉦跡、落作業所、五輪塔、神楽)

- △山が荒れている。→森林組合発注、ボランティア、地主が発注する。見てくれ、災害面での対策 (防災)

- 行政, 地主, 住民

### 10年後の地域のすがた (想像, こうあってほしい)

- △山が荒れている。
- △交通が不便
- △他地域へのアピールがない。行動がない。
- △児童生徒が少ないので、競争心がない。
- △上下水道が無い地域がある。
- △宿泊所が無い。
- △携帯電話が使えない地域がある。

- △交通が不便。→高齢者、子ども等の交通弱者への対策を図る。巡回バスの整備、バスの利用のしかた。

- 行政と住民

- 人口を増やす→団地を作る。↓ 増えていない現状 ⇒減った人口で何とか生活できる。

- △他地域へのアピールがない。行動がない。→アピールするものがあるか?

- 

- 老人の最後は施設になる。⇒布野に施設があれば、遠くへ行かなくてすむ。

- △児童生徒が少ないので、競争心がない。→競争が必要か。少人数で教育が受けやすい。

- 

- 高齢者が集落から移転して一緒に住む。

- △上下水道が無い地域がある。
- △宿泊所が無い。

- 行政

## ■布野町まちづくり連合会-2

班名 (2班)

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

△住民現象の対策 △世の中を理解していない。(百姓根性)	→	交流人口を増やす(外部から) 交流イベントを実施する。 スポーツ行事などの実施 (外部からの参加も考える)	地域住民 (旧知の人を呼ぶ)
△道路 (松江道の影響での交通不便) (人口移動減少)	→	市がバスを用意する。	地元, NPO等 行政
△文化, 歴史があるが, 活用していない。 △恵まれていて感じていない。	→	交流イベントで情報発信する。	自治会 市 (観光の推進として)
○文化, 歴史がある。			
○災害が少ない。	→	自主防災会で防災マップづくりで啓もう活動。	自主防災会
○ほどほどのところ (住むところとして)			
△危機感がない。 △子どもの出生が少ない。将来不安。 学校の統廃合が心配。	→	工業団地の誘致 (職場の確保) 高齢者世代を受け入れる 子育て支援の充実	行政 民間事務所

10年後の地域のすがた  
(想像, こうあってほしい)

- 買い物弱者がいない
- コンビニ等の巡回サービス充実
- 通院しやすい交通手段がある
- 人が集まった街づくりへの再編 (居住区と耕作区の区画整理)

- 布野町オリジナルのイベント開催
- 宿泊所があって温泉のある町
- シングルマザーを受け入れる

## ■作木町自治連合会

班名 ( )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

△高齢化が進んでいる ○地域の行事などに協力する高齢者が多い ○高齢者が元気である	→	・弁当配達, 見守りの実施 ・バリアフリーの推進 ・表彰, 地域内流通券の実施など, 互いに感謝し, 認め合う仕組みづくり	地域・自治組織
○ブッポウソウを大切にしている, 遠方からも人が訪ねてくる。	→	・来た人と話ができる場づくり	地域
△空き家の増加 △草刈りなど手が届かない △活力が低下し, 行事に人が集まらない △集落機能の低下 (斎場廃止が一因?)	→	・守りから攻めへの発想転換 (収入確保の手段に?) ・行事, 役割分担, 実施体制の見直し ・日常の中でのつながりづくり	地域・自治組織
△防災への関心が薄い	→	・防災マップの作成, 避難場所の周知	地域・自治組織
△高齢者への情報伝達 △市~自治組織~連絡協~行政区~個人への情報伝達	→	・印刷物の配布 ・にこにこ便内での情報交換 ・複数手段での情報発信・伝達	自治組織 行政
△相談窓口が分からない △支所では相談しにくい	→	・支所・福祉保健センター・自治組織の役割分担と窓口の周知	自治組織・行政
△役職が一人に集中する △若い人と意見交換をする場がない △後継者の育成	→	・意見交換の場づくり ・自治組織+αの場づくり	自治組織・地域
△働く場所がない	→	・NPO元気村さくぎの存在 ・自治組織の法人化 ・独自事業による収入確保 ・課題に応じた関係団体との連携 (農業, 交通など)	自治組織
△自治組織と行政の役割分担 (責任の所在) が明確でない △自治組織のあり方・方向性が示されない	→	・自治組織のあり方の検討 ・作木全域の視点での活動の実施 ・つながり, 一体感	自治組織・行政
△自治組織役員間の意識のギャップ △より身近な単位 (行政区>自治組織) の活動が中心, 全体での取組が困難			

10年後の地域のすがた  
(想像, こうあってほしい)

- ・若い人を育てていける
- ・生まれて育った人が夢をもって定住できる
- ・町民の目が作木全体, 三次市全体に向けてもらえる
- ・地域内で自給自足できる
- ・モノが豊かでなくても幸せに暮らせる

### ■吉舎町自治振興連合会

班名 ( )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

△安心して子どもが産めない (市内に産科が1ヶ所しかない) ○子どもへの医療は充実している	⇒	安心して埋めて働ける場所、病時病後保育のあり方	
△子育てには厳しい状況 (保育所、幼稚園、小学校がなくなることへの不安)	⇒	具体的な施策が必要 地域に保育所、学校は必要 現状を踏まえたカタチで手段	行政と地域 (保護者会、自治振興会の情報共有)
○子どもの見守り隊の存在 △親の関わり方は課題	⇒	子どもは宝、地域活性化	
△水道等インフラ整備 (いい水が使えなければ若い人が住まない) △道路整備等の改良改修のあり方	⇒	インフラ整備 国・県・市・地域との連携が必要	行政
△河川等の土砂たい積 (災害予防のため撤去を)	⇒	個別で要望する	地域、行政
△自主防災のあり方 (福祉の観点、地域の意識づけ、民生委員制度など)	⇒	情報をしっかりさせる (本人から自己申告を固りファイル化する) 地域内で支え合う意識づけ 地域の中で見守れる体制づくり	地域 行政の支援
△買い物弱者への対応	⇒	買い物代行の仕組みづくり (徳市)	地域
△健康のあり方 (最初は自己責任)	⇒	地域福祉のあり方を整理すること (見守りを含めたもの)	
△集落機能 (常会) の弱まり △地域づくりの担い手、次の世代へ継承 △地域の良さをもっとお互いに持ち合うことの大切さ。地域内も地域外へも!	⇒	今やっている方をしっかりバックアップできる仕組みづくり 市民満足度調査 (「しあわせ」の意識調査) してみたらどうか	行政
○地域まちづくりビジョンの存在 (継続して地域づくりを進めていきたい)	⇒	つながり (育ちつつある) 親子も交流しながら地域全体でつながりを	
△日影館高校、残してほしい ・子どもたちと親の思い、考え方 ・県は学校に特色をと言っているが、先生の異動のあり方はどうか (永年に渡り、地元の書道講師が歴史を築いてきたが、今年度、書道の正規教諭を赴任されたことにより、書道講師の職がなくなった)	⇒	これまで同様に、地域行事に生徒が参加してほしい 子ども・保護者・地域の思い、ギャップの埋め方をどうするか… もっと、県も学校も、よく連携が必要ではないか	

10年後の地域のすがた  
(想像, こうあってほしい)

三次市の総合的なあり方  
→ 周辺市町との連携のあり方  
「州都」という考え方も含めて  
三次市の姿

日影館高校が地域に残ってほしい  
→ 県北エリアでの中高一貫校のあり方も視野にして

### ■三良坂町自治振興区連絡協議会

班名 ( )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

○団体が元気でつながりがある ○あいさつができる	⇒	・コミュニティの機能強化 ・センター・集会所の充実 ・元気な高齢者が活躍する 農業などと一体的な取組!!	地域・高齢者 + 行政支援 (コーディネート)
○自由な風土がある ○生活基盤が充実している △危機感がない	⇒	・安価な福祉の提供 ・交通手段の確保 ・移動販売車の活用 ・空き家の活用 ・UIターンの促進	行政
△常会・集落機能の弱まり △高齢化 (高齢者単独世帯の増加) △行事の参加が少ない	⇒	・企業誘致 ・求職者と企業のマッチング	行政
△働く場所がない △年齢・給与など条件が折り合わない	⇒	・産直市 (尾道松江線の活用) ・野菜の出荷体制の整備	
○スポーツ施設の充実 △スポーツ施設の利用者の減少	⇒		
○平和に関する取組が充実している (平和の集い、美術館)	⇒		
△子どもが少ない △子どもが産みにくい △保育料が高い	⇒	・出産費用の助成 ・子育てしやすさのPR ・結婚支援 (独身者・外国人) ・教育環境の充実 (ハード・ソフト) ・小中一貫校の成功 ・親・地域の教育力をあげる ・子どもと高齢者が触れ合う場をつくる	学校・地域
○教育熱心な地域である △子どもの学力・やる気の低下	⇒		
△区画整理事業の長期化	⇒	・事業を活用した新たなまちづくりの取組の実施	

10年後の地域のすがた  
(想像, こうあってほしい)

・人口増となっている  
・高齢者が住みやすい  
・まちづくりビジョンの実現  
・商店街の復活  
・後継者が戻ってくる

### ■三和町自治連合会-1

班名 ( 1 班 )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

○米がおいしい (酒米もある) ○酒蔵がある	→	法人経営の継続 引き継ぎがんばる	地域
○下水道・道路・田などインフラが充実している ○住環境が整っている ○自然災害が少ない ○病院が3軒もある	→	元気な高齢者を増やす 独居老人等地域の見守り体制の整備 働く場所の確保 子どもをつくる 年寄りが稼いで小遣いをやる 新しい風が必要 退職者の活躍の場を確保	地域・行政
○まとまりが良い ○地域行事が盛んである ○I・Uターンがいる	→	駆除の徹底、柵の設置 県単位の駆除集団 消防団が狩猟免許を取得する	地域・行政
△高齢者が増えた △子ども・若い人が少ない △住民意識が保守的 (話し合いが民主的でない、どこに行っても同じメンバー)	→	町内に限って考えない 三和工業団地に企業誘致する	行政・企業
△イノシシとシカが多い	→	既存の飲食店を活用 (小川亭・みわ375など) 移動販売の実施 観光資源とセットで宿泊施設を整備 (キャンプ場など)	地域・企業
△就職先がない △高等学校がない △公共交通機関がない (甲立便・豊栄便の廃便)	→		
△飲食店が少ない △商店街がない △宿泊する所がない △娯楽施設がない	→		

#### 10年後の地域のすがた (想像, こうあってほしい)

- ・昔のようにきれいな川がある
- ・年をとっても心配なく暮らせる, 働ける
- ・ピンピンコロリ
- ・助け合いでつながっている
- ・ゆるやかな絆 (束縛しすぎない関係)

### ■三和町自治連合会-2

班名 ( 2 班 )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

○ケーブルテレビがある	→	健康づくりの推奨に活用 見守り活動へ利用 病院とつないで診療	行政・地域
○下水道・道路・田などインフラが充実している ○立地的にも住みやすい	→	働く場をつくる 働く場との交通条件を良くする 農業の企業化 (給料制)	地域・行政
○敷名の千本桜がある ○豊かな自然がある	→	交通網の整備	JR・国
○集落機能が維持されている ○集落法人が9つもある	→	婚活の支援 Iターンを増やす	行政・地域
△危機感がない	→	健康寿命を延ばす	個人・地域・行政
△就職先・就農先がない (特に若い人)	→	「良いところだ!!」とアピールする 若い人が住みたくなる環境 (住宅・働く場) をつくる 住民意識の改革	地域
△高等学校に行くのが不便	→		
△一部では限界集落がある △高齢化率が高い △子どもが少ない △若い人が帰ってこない	→		

#### 10年後の地域のすがた (想像, こうあってほしい)

- ・年代のバランスが良く人が住んでいる
- ・犯罪もなく安心して暮らせる
- ・一人ひとりの意見が大切にされ (若い人も女性も)
- ・地域行事に多くの人が参加する (若い人もお年寄りも)
- ・伝統行事 (技術) が伝承されている
- ・健康寿命が延びて元気なお年寄りが活動している (ピンピンコロリ)
- ・都市住民との交流が盛ん
- ・若い人も一緒に農業をしている

■甲奴町振興協議会連合会

班名 ( 1・2・3 班集体 )

○よい部分 (ほこり), △課題 (困り事) 課題の解決方法 誰がするのか?

△雇用が少ない。企業が少ない。	→	・農業、林業所得倍増 ・中小企業、現状を大きくする。	行政・住民・企業
△雇用が少ない。企業が少ない。	→	法人化、販路開拓 付加価値を高める農産物生産	農家・行政
○商工会後継者が元気である。 ○農業青年が元気である。			
△空き家が増えてきた。	→	・空き家バンクに早く登録	家主
△イベントが中央に集中している。	→	甲奴町分は一つにして	振興協議会・自治組織
△中心地から遠い。 △公共交通が不便 ○近隣市町へのアクセス30分以内	→	・梶田三良坂線の改良 ・時間短縮のため道路整備 ・市民バスを便利にする。 ・便数を増やす、運賃の補助	行政・住民
○広島への高速バス直行便がある。 ○公共交通機関 (ビースライナー、JR)			
○人情がある。			
△高齢者を中心に独り暮らし、二人暮らし世帯が多い。	→	・見守っていく地域 ・健康寿命を延ばす。元気ハツラツ体操をする。(ピンピンコロリ)	隣近所
△子どもが少ない △人口減少、働くところ、若者が少ない。	→	・結婚させる、若者の定住 ・あわしま住宅クラスを増やす。	住民+行政支援
△小学校の2校が将来的に存続するかあやぶまれる。	→	魅力あるまちづくり、生活環境の充実、定住、婚活、結婚・出産祝い金。産婦人科がない。	行政・地域
△特色がない。 △コンビニが無い。	→	・特色を捜す。集中させて大きくする。伸ばす。努力する。	住民
○アメリカス市との交流 ○カーターピーナッツ (特産品) がある。			
○伝統文化 (小童の祇園さん) がある。 ○プラネタリウムがある。			
○空気、水がきれい。自然がいっぱい ○温泉源がある。			

10年後の地域のすがた (想像, こうあってほしい)

- 温泉プールを活用して健康づくりをする。
- 健康増進, 交流人口につながる施設, 環境づくり。
- 農林業を企業家して, 働く雇用を確保  
→若者の定住化を企てる。
- 甲奴町へ専門学校, 大学等を誘致する。農業体験, 国際交流ができる「ふるさと体験大学」をつくる。(国際大学, 海外からの留学)
- 人口減少を可能な限り, 喰いとめる。